

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場会社名 株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント 上場取引所 大
 コード番号 2124 URL http://corp.jac-recruitment.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長・COO (氏名) 松園 健
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長・CFO 管理本部長 (氏名) 服部 啓男 (TEL) 03-5259-6926
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	4,604	23.4	1,087	62.7	1,092	62.5	529	0.1
23年12月期第3四半期	3,730	-	668	-	672	-	530	-

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 529百万円(0.1%) 23年12月期第3四半期 530百万円(%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	800.21	796.31
23年12月期第3四半期	809.44	805.99

(注) 平成23年12月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成23年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	4,011	2,900	72.3
23年12月期	3,269	2,429	74.3

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 2,900百万円 23年12月期 2,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	-	0.00	-	140.00	140.00
24年12月期	-	0.00	-	-	-
24年12月期(予想)	-	-	-	300.00	300.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	24.4	1,230	56.1	1,235	55.6	643	15.2	970.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	688,200株	23年12月期	688,200株
期末自己株式数	24年12月期3Q	22,493株	23年12月期	30,963株
期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	661,853株	23年12月期3Q	654,907株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループのセグメント区分は、経営単位である拠点・会社別に記載しております。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年1月～9月)におけるわが国経済は、前半の景気回復基調から転じて、後半は内需・外需とも今後の見通しに不透明感のある状況が続きました。しかしながら、実態としては企業の求人意欲は有効求人倍率の改善傾向が示すように比較的高く、当人材紹介業界では製造業をはじめ、IT、消費財、サービス業関連からの受注が続き、当社グループの業績も安定して推移いたしました。中高額帯並びに専門性の高い案件への事業シフトもマーケットの実態に添う形となり、これも業績を後押しする結果となりました。

また、当社グループが過去2年間取り組んでいる以下の「PPP&I」につきましても、その全てにおいて改善がみられ、その効果も業績に反映されております。

Productivity 「生産性の向上」

Profitability 「利益の絶対額と利益率の向上」

Professional 「人材紹介コンサルタントのプロフェッショナル化」

International 「日系企業の海外事業、外資系企業、国際人材領域の強化」

と については順調に改善を続けております。求人案件の年収帯に適したコンサルタントを配置することで専門性の高いコンサルテーションを可能にし、それにより生産性も向上しております。 の「人材紹介コンサルタントのプロフェッショナル化」については、個々のコンサルタントに対する徹底した指導を継続しております。一方、本年入社の新卒社員につきましても、実践を重視した新規研修プログラムの実施により、7月の現場配属から3ヶ月間で全体の78%が成約を計上しており、その成果が表れております。

の「日系企業の海外事業、外資系企業、国際人材領域の強化」につきましては、日系企業の海外事業関連の求人開拓に注力し、同分野では、この1月～9月の累計成約金額がすでに前年度を30%以上上回る結果となりました。また、外資系企業をターゲットとして2011年に戦略子会社として発足させましたJAC Internationalも、この7月～9月には四半期黒字化を達成することができました。

経費につきましては、人件費が見込みを下回り、その他販売費及び一般管理費も必要最低限の水準で推移したため、全体としても当初予算を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,604百万円(前年同期比23.4%増)となりました。セグメント別売上高は、東京本社が2,670百万円(同23.3%増)、横浜支店が331百万円(同24.8%増)、名古屋支店が319百万円(同33.7%増)、大阪支店が875百万円(同15.0%増)、京都支店が128百万円(同5.6%増)、神戸支店が118百万円(同24.0%減)、JAC Internationalが161百万円(同140百万円増)となっております。

利益面では、営業利益は1,087百万円(前年同期比62.7%増)、経常利益は1,092百万円(同62.5%増)、四半期純利益は529百万円(同0.1%減)となりました。セグメント別損益は、東京本社が686百万円(同73.6%増)、横浜支店が114百万円(同32.2%増)、名古屋支店が83百万円(同219.7%増)、大阪支店が160百万円(同97.9%増)、京都支店が21百万円(同22.9%増)、神戸支店が20百万円(同62.4%減)、JAC Internationalが 47百万円(前年同期は 44百万円)となっております。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの売上実績は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	売上高	前年同期比(%)
東京本社	2,670	123.3
横浜支店	331	124.8
名古屋支店	319	133.7
大阪支店	875	115.0
京都支店	128	105.6
神戸支店	118	76.0
JAC International	161	754.1
合計	4,604	123.4

- (注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。
2. JAC Internationalは平成23年8月から営業を開始したため、比較の期間が異なっております。

なお、業界部門別に示すと、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

業界部門別	売上高	前年同期比(%)
電気・機械・化学業界	1,526	123.9
消費財・サービス業界	1,213	127.8
メディカル・医療業界	830	125.2
IT・通信業界	583	150.3
金融業界	417	102.5
その他	33	117.1
合計	4,604	125.5

- (注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。
2. 人材派遣事業は平成23年度に終了したため、人材紹介事業のみ比較を行っております。前第3四半期連結累計期間における人材派遣事業の売上高は61百万円であるため、全事業売上高合計の前年同期比は123.4%となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金721百万円増加、売掛金191百万円増加、繰延税金資産64百万円減少により、前連結会計年度末に比べて742百万円増加の4,011百万円となりました。

負債合計につきましては、未払費用111百万円減少、未払法人税等276百万円増加、賞与引当金47百万円増加により、前連結会計年度末に比べて272百万円増加の1,111百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益529百万円及び配当金の支払い192百万円により、前連結会計年度末に比べ470百万円増加の2,900百万円となり、自己資本比率は72.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

世界的に経済見通しが不透明な中、当社グループの経営スタンスとしては、これまでどおり利益性を第一に重視し、その前提の上で事業拡大を図ってまいります。そのために、前述の「PPP&I」(生産性の向上、利益の絶対額と利益率の向上、人材紹介コンサルタントのプロフェッショナル化、日系企業の海外事業・外資系企業・国際人材領域の強化)を、当社グループの根幹として今後もさらに強く押し進めてまいります。

これらの施策の実効性も踏まえ、平成24年12月期の連結業績予想につきましては、売上高6,200百万円、営業利益1,230百万円、経常利益1,235百万円、当期純利益643百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,238	2,959
売掛金	287	478
貯蔵品	0	0
前払費用	68	58
繰延税金資産	148	84
その他	13	6
貸倒引当金	3	-
流動資産合計	2,752	3,587
固定資産		
有形固定資産		
建物	159	164
減価償却累計額	83	93
建物(純額)	75	71
車両運搬具	11	11
減価償却累計額	10	10
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	248	236
減価償却累計額	210	198
工具、器具及び備品(純額)	37	37
リース資産	11	11
減価償却累計額	1	3
リース資産(純額)	9	7
建設仮勘定	1	-
有形固定資産合計	125	117
無形固定資産		
商標権	0	0
ソフトウェア	69	50
その他	6	2
無形固定資産合計	77	53
投資その他の資産		
投資有価証券	50	0
出資金	0	0
敷金及び保証金	254	247
長期前払費用	-	0
長期未収入金	19	14
貸倒引当金	9	9
投資その他の資産合計	314	253
固定資産合計	516	424
資産合計	3,269	4,011

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	132	132
リース債務	2	2
未払金	124	160
未払費用	201	89
未払法人税等	112	388
未払消費税等	64	87
前受金	3	-
預り金	28	55
前受収益	-	0
賞与引当金	96	143
解約調整引当金	14	18
流動負債合計	779	1,077
固定負債		
長期借入金	52	28
リース債務	7	6
固定負債合計	59	34
負債合計	839	1,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	619	619
資本剰余金	594	596
利益剰余金	1,297	1,743
自己株式	81	59
株主資本合計	2,429	2,900
純資産合計	2,429	2,900
負債純資産合計	3,269	4,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高		
紹介事業収入	3,668	4,604
派遣事業収入	61	-
売上高合計	3,730	4,604
売上原価		
紹介事業原価	73	128
派遣事業原価	41	-
売上原価合計	115	128
売上総利益	3,614	4,476
販売費及び一般管理費		
役員報酬	110	129
給料及び手当	1,439	1,762
法定福利費	208	267
退職給付費用	42	49
賞与引当金繰入額	118	143
貸倒引当金繰入額	0	-
地代家賃	291	280
減価償却費	66	57
広告宣伝費	247	245
その他	419	454
販売費及び一般管理費合計	2,946	3,389
営業利益	668	1,087
営業外収益		
受取利息	0	0
還付加算金	0	-
設備賃貸料	3	1
貸倒引当金戻入額	-	3
その他	2	1
営業外収益合計	6	7
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	2	2
経常利益	672	1,092

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
特別損失		
固定資産除却損	1	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	49	-
損害賠償金	5	-
投資有価証券評価損	-	49
その他	0	-
特別損失合計	56	54
税金等調整前四半期純利益	616	1,038
法人税、住民税及び事業税	85	444
法人税等調整額	-	64
法人税等合計	85	508
少数株主損益調整前四半期純利益	530	529
四半期純利益	530	529

(四半期連結包括利益計算書)
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	530	529
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	530	529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	530	529
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							合計
	東京本社	横浜支店	名古屋支店	大阪支店	京都支店	神戸支店	JAC International	
売上高								
外部顧客への売上高	2,166	265	239	761	121	155	21	3,730
セグメント間の内部売上高又は振替高								
計	2,166	265	239	761	121	155	21	3,730
セグメント利益又は損失()	395	86	26	81	17	55	44	616

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、外資系企業を専門に人材を紹介する子会社「株式会社JAC International」が営業を開始したことを機に、報告セグメントを従来の「拠点別」から「拠点及び子会社単位」に変更いたしました。

株式会社JAC Internationalは日本人パイリンガルと外国人コンサルタントにより外資系企業に特化したサービスを提供しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							合計
	東京本社	横浜支店	名古屋支店	大阪支店	京都支店	神戸支店	JAC International	
売上高								
外部顧客への売上高	2,670	331	319	875	128	118	161	4,604
セグメント間の内部売上高又は振替高								
計	2,670	331	319	875	128	118	161	4,604
セグメント利益又は損失()	686	114	83	160	21	20	47	1,038

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。